

## 議会報告

### 令和4年3月那珂川市議会定例会

会期24日間(2月28日から3月23日まで)

議案56件、諮問1件 が上程され審議されました。

令和4年度 一般会計予算 約	185億1,924万円
対前年比 約	▲1億9,926万円(1.1%減)
特別会計合計 約	91億3,856万円
対前年比 約	▲3,738万円(0.4%減)

#### ■主な議案のみご紹介します

- 防災重点農業用ため池10カ所整備されます。
- 飼い主のいない猫不妊去勢手術が行われます。
- 道善恵子区画整理に伴い幹線道路が新設されます。
- 谷口公園にボール遊びが出来るフェンスが設けられます。
- 中央保育所跡地に仮設図書館が設置されます。
- 市立体育館のバスケットゴールが取り替えられます。

詳しくは、春田ともあきホームページ <http://haru3.net/> をご覧ください。

#### ■定例議会を振りかえって

我が国では、2020年10月に地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を実質ゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

本定例会の市長の施政方針の中でも「ゼロカーボンシティ那珂川」が宣言されました。

これは、2050年までに、温室効果ガス、一般的には二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを、那珂川市として取り組むと宣言するものです。

市の面積の約70%は山林の那珂川市ならではの取組もあるかと考え、その取り組みを議場より提案して行きます。

## 3月議会 会派代表質問

### 「自然と調和した快適に暮らせるまちづくりについて」

質問 有害鳥獣による作物への被害を軽減するため、現行制度の捕獲補助金の増額はあるのか。

市長 現行制度の捕獲補助金の増額は考えていない。

### 「地域の資源を活かした活力あふれるまちづくりについて」

質問 グリーンピアなかがわバンガローサイトの今後はどうなるのか。

市長 これまでのように運営することは経費の問題等により困難で、民間事業者の自由な発想で利活用したいと考える。

### 「支え合い安心に暮らせるまちづくりについて」

質問 過去、医療的ケア児の受け入れ体制の整備を求めていたが、今回恒常的にケアが必要な子どもやその家族への支援として、看護師派遣やレスパイト支援とあるが、具体的内容は。

市長 医療的ケア児が幼稚園や保育園に通園する場合、訪問看護師、看護事業者が園を訪問して医療行為を行うことで通園できるように支援する。レスパイト支援とは休息や息抜きという意味で、訪問介護事業者が、医療行為などを保護者などに代わって行い看護や介護負担を軽減できるように支援する。

